

# 「ほうじょう」コラム

令和8年4月13日

場長就任のごあいさつ

場長 仲手川 恒

4月から水産技術センター相模湾試験場長に就任しました 仲手川 恒（なかがわ ひさし）です。3月まで県庁の水産課で漁業の許認可や水産振興施策の推進などの行政の仕事を担当していました。水産技術センターでの勤務については、本所で普及指導や資源研究などを担当した経験はありますが、相模湾試験場での勤務は初めてとなります。

相模湾試験場は、本県の沿岸漁業の漁獲量の約6割を占める定置網漁業に関する調査研究を主として取り組んでおり、漁業経営の安定に加えて、県民の皆様への地元水産物の供給という面でも、果たしていく役割は大きいと感じています。

また、近年深刻な問題となっている磯焼けへの対策として、漁業者等の皆様と連携し藻場再生の取組をより一層推進していく必要があります。

さらに、本県は首都圏に位置し、県西地域の小田原市や箱根町、真鶴町、湯河原町には有名な観光地が多くあることから、定置網の漁獲物などを活用した「海業」の取組を推進することで、県民の皆様には海に親しむ機会を提供するとともに、漁業者の皆様の所得の向上を図っていくことも重要と考えています。

このコラムの名称にもなっている漁業調査指導船「ほうじょう」とともに、職員一同が職務にしっかりと取り組み、豊穡の海を守ってまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。